

## 大学院統合新領域学府の設置について

**概要**

九州大学では知を統合する新たな大学院「統合新領域学府」を平成21年4月に設立し、「ユーザー感性学専攻」と「オートモーティブサイエンス専攻」の2つの専攻を開設します。いずれもわが国初の大学院構想であり、産業界から熱望されていたものです。

この学府からは、知の統合による先端科学（フロンティア・サイエンス）を追求し、高度な専門性と実践能力を備えた人材が輩出されます。彼等はフロンティア・サイエンス分野のリーダーとして、大きな社会貢献を果たすと期待されます。また、学府それ自体は2つの専攻分野の国際的な学術拠点として発展してゆくことが期待されます。

統合新領域学府は、統合をコンセプトに、細分化され過ぎた科学に分野の垣根を越えた交流、連携を促して、知の総合力を発揮するための新しい知の仕組みです。統合は現代社会が抱える複合的で多面的な課題領域にそって編成され、高度な専門的な知を動員して課題の克服が探求されてゆきます。統合新領域学府は21世紀の科学的な知の探求の仕組みとして重要な意義をもつものです。

**背景**

20世紀は科学的発見とそれに基づく工業化の時代でした。創出された科学的知は大量生産、大量消費の物質文明をもたらし、人類はその恩恵に浴して、物質的豊かさを享受しています。科学的な知的探求は、高度化し専門分化しながら、新たな知を生み出しつつ、学問を大きく発展させてきたのです。

しかし、その反面で、科学的な知が専門分化し細分化されるにつれて、専門領域を超えた知の交換や相互理解が困難になりつつあります。これは知のエントロピーの増大とでもいうべき知の探求への負のエネルギーの発生です。他方で現代社会は、これまでの科学では解き難い複合的で多面的な課題を次々に生み出しています。いま問われているのは、知の専門分化を受け入れながらも、知のエントロピーの増大を抑えて、新たな科学的な知を生み出す知識創造の仕組みを構築することです。

九州大学では新たな科学のフロンティアを開拓し、また科学的な知を再編成し統合するための知的探求と教育の仕組みとして「統合新領域学府」を設置します。ここでは統合をキーワードに先端科学分野における科学的な知が、専門的な知の動員とその交流と創造を通じて探求されます。「統合新領域学府」と呼ぶ所以は、従来の学問の縦割りにそった学府専攻の枠組みでは捉えることが難しい、複合的かつ根源的な新しい課題に取り組み、その知的成果を社会に還元するとともに、そのような知の担い手として活躍する高度な専門人材の養成を目指すことにあります。

**内容**

本学府に「ユーザー感性学専攻」と「オートモーティブサイエンス専攻」を開設し、社会・学術基盤及び新しい先端的科学領域に関する統合的な教育・研究を展開し、進展の著しい社会に柔軟に対応できる確かな基礎学力を備えた高度な指導的人材を養成することを目指します。

「ユーザー感性学専攻」は、知の活用主体であるユーザーの視点から、また感性を基盤として人間理解の上に立って、感性価値の創造を推進する高度な専門人材の養成を目的とする修士課程30名の大学院専攻です。「感性」を科学する大学院としてはわが国初のものです。

「オートモーティブサイエンス専攻」は、オートモーティブという視点から自動車と先端技術、自動車と人間や社会、自動車と環境・エネルギーなどの先端的で複合的な課題を統合的な知の仕組みに基づいて解明し、新しいオートモーティブ社会を創造する高度な専門人材を養成することを目的とする、修士課程21名、博士後期課程7名からなる大学院専攻です。これほど総合的で体系化されたオートモーティブ大学院は世界に例を見ないものであり、自動車大国のわが国に待望久しかった初の本格的な自動車大学院です。

二つの専攻は、社会の求める感性価値やオートモーティブのあり方など、いずれも現代社会や現代の科学に問われている実在的な課題から出発するところに特徴があります。九州大学の知的リソースと優れた知的実績を誇る公私の大学（福岡女子大学（公立）や西南学院大学（私立））との連携、さらには

実践的な高度な知を生み出している企業や行政との連携によって教育研究組織は編成されます。

## 効果

入学者は、多様な専門と背景を持つ人材です。このため指導教員は、学生一人ひとりの出身分野や関心領域に応じて、きめ細かい履修指導を行います。また、修了後の社会での活躍やキャリア像を念頭に効果的な学習計画を立てていくために、具体的な履修モデルを多様に用意し、進路と履修のつながりが明確になるようにします。教育方法に工夫をし、P T L（プロジェクトチーム演習）、P B L（Project based Learning）インターンシップ等を用いながら、体験を通じた実践的な知の修得をはかります。

こうして本学府からは、大学院ならではの高度な専門知識と実践志向性にあふれた柔軟かつ弾力的な思考を備えた人材が社会に送り出されます。このような有為な人材の輩出は、大学院としての本学府の第一義的な責任でもあり、重要な社会貢献だといえます。

開設される2つの専攻は、いずれもわが国にはなかった独自のものであり、科学的な知の探求拠点として重要な学術的貢献が期待されます。九州大学は感性科学とオートモーティブサイエンスの世界的な研究拠点を目指すことになります。

このような教育研究活動成果は、地域にとって重要な貢献を果たすことになることと期待されます。オートモーティブサイエンス専攻は自動車産業にとっては九州に弱いとされている研究開発能力を育むこととなるでしょうし、ユーザー感性学専攻は感性価値に軸をおいた新しい産業の創出や地域社会の再生に貢献していくことが期待されます。

## 今後の展開

文部科学省大学設置審議会の設置審査および認可を経て、平成21年4月に設置します。学生募集に係る今後のスケジュールは次のとおりです。

### 【ユーザー感性学専攻】(修士課程)

願書受付期間 平成21年1月7日(水)～16日(金)

入学試験 平成21年2月10日(火)(書類審査及び口頭試問)

### 【オートモーティブサイエンス専攻】(修士課程・博士後期課程)

願書受付期間 平成21年1月7日(水)～16日(金)

入学試験

第1次審査 平成21年1月下旬(書類審査)

第2次審査 平成21年2月10日(火)(第1次審査合格者に対する口頭試問)

詳しくは、統合新領域学府ホームページ (<http://www.usi.kyushu-u.ac.jp/graduate/>) にアクセスしてください。

### 【お問い合わせ】

➤ 統合新領域学府 及び オートモーティブサイエンス専攻  
経済学研究院教授 塩次喜代明

TEL : 092-642-2492

E-Mail : [shiotugu@en.kyushu-u.ac.jp](mailto:shiotugu@en.kyushu-u.ac.jp)

➤ ユーザー感性学専攻

ユーザーサイエンス機構特任教授 戸島義成

TEL : 092-642-7276

FAX : 092-642-7163

E-Mail : [koho@usi.kyushu-u.ac.jp](mailto:koho@usi.kyushu-u.ac.jp)